

令和3年9月24日

白河市教育委員会

9月定例会会議録

令和3年9月白河市教育委員会定例会会議録

日 時 令和3年9月24日(金)
開 会 午後3時00分
閉 会 午後4時20分

場 所 白河市役所 地下第2会議室

報告事項

- (1) 教育長報告
- (2) 各課所報告

○ 出席委員

教育長 芳賀 祐司 1番委員 高橋 顕 2番委員 北條 睦子
3番委員 沼田 鮎美 4番委員 瀧澤 学

○ 欠席委員

なし

○ 出席説明員

教 育 部 長	水野谷 茂	教 育 総 務 課 長	田崎 修二
学 校 教 育 課 長	稲川 竜寿	生涯学習スポーツ課長	近内 友明
中 央 公 民 館 長	根本 純子	図 書 館 長	中沢 孝之
健 康 給 食 推 進 室 長	鈴木 正美	学校教育課主幹兼課長補佐兼指導係長	長田 修一郎

○ 書記

教育総務課課長補佐兼総務係長 高久 忠雄 教育総務課主査 大塩 健一

○ 傍聴人 なし

【午後 3 時 00 分開会】

日程第 1 開 会

○教育長

これより令和 3 年白河市教育委員会 9 月定例会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

日程第 2 会期の決定

○教育長

次に日程第 2 会期の決定ですが、白河市教育委員会会議規則第 4 条の規定により、本日 1 日間といたします。

日程第 3 書記の指名

○教育長

次に日程第 3 書記の指名を行います。書記には教育長において高久教育総務課課長補佐、大塩教育総務課主査を指名します。

日程第 4 教育長報告

○教育長

それでは、私から 2 点報告いたします。

まず 1 点目です。小中学校では 2 学期がスタートし 1 ヶ月が過ぎ、ちょうど年度の折り返し地点となりましたが、新型コロナウイルス感染症により学校生活の様変わりして 1 年と半年になりました。今月末にかけて、感染者は収まり始めましたが、第 6 波が来るのではという予想もあり、感染症対策や制限された活動が続きます。

子どもたちにとっての 1 年は、大人よりとても貴重で子どもたちの様々な活動はその年齢においてこそ体や心を大きく成長させる効果があります。今後も学校と連携し、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、可能な限り子どもたちの活動を確保し子どもの学びを保障していきたいと考えているところであります。

2 点目ですが、本年度も教師の指導力を高める授業研究公開を白河一小は 10 月 22 日（金）、中央中は 11 月 12 日（金）、白河二中は 11 月 19 日（金）に行います。教師の備えるべき資質能力で「授業力」は欠かせないものであります。研究授業を通して、子どもの意欲がわく授業はどのようにすればよいのか、教師の指示が全員に伝わるような話し方にはどんなポイントがあるのか、わかりやすくするにはどの資料をどう提示すればいいのか等を協議することで授業力が高まります。研究会を通して教員の資質を高めたいと思います。以上です。

日程第5 各課所報告

○教育長

次に日程第5各課所報告に入ります。それでは、行事予定・行事報告について、教育総務課から順次報告をお願いします。

(教育総務課長から順次報告)

○教育長

その他各課所からございますか。

(新型コロナウイルス感染防止対策等について教育総務課長、学校教育課長より報告)

○教育長

それでは、これより一般質問に入ります。配付資料の「各課所行事報告・行事予定」並びに本市の教育行政一般に関し、ご質問をお受けいたします。

○高橋委員

9月3日の新聞に、ふくしま学力調査の結果についての概要が示されていました。市に詳細が送られてきているかと思いますが、市としてはどのような結果だったのでしょうか。

○学校教育課長

詳細な分析、考察がまだ十分できておりませんので、次回の定例会でご説明させていただきたいと思います。次回の定例会では、全国学力・学習状況調査について報告する予定でありますので、その時に併せてご説明させていただきたいと思います。

○北條委員

9月29日にカタール大使館公使による特別授業が、白四小と東北中で予定されていますが、この2校を選んだ理由と授業の内容について教えてください。

○生涯学習スポーツ課長

学校を選定するに当たりましては、一定の人数を集められる場所がある学校として、中規模校より選定させていただく前提で、地理的に移動距離が近い白四小と東北中を選定させていただきました。内容につきましては、カタール国の文化、イスラム教関係の文化を知っていただくための内容となっております。食生活や服装など、また来年カタール国で開催されるサッカーワールドカップについても話したいと伺っております。

○北條委員

めったにない機会でありますので、たくさんの人に知っていただきたいと思います。大規模校では難しかったのでしょうか。

○生涯学習スポーツ課長

不可能ではありませんでしたが、今回は中規模校を対象とさせていただきました。

○教育長

今回のような行事が一部の学校に集中しないように、バランスを考えております。最近では台湾との交流事業を小田川小で行うなどの対応をしておりますが、このような事業は毎年行われるものではないため、なかなか難しいとも感じています。偏りがないように配慮しているのは確かです。

○瀧澤委員

子ども達のコロナワクチン接種についてお伺いします。中学3年生の接種が終わったようですが、ほぼ全員が2回目の接種を終えたということなのでしょうか。

○学校教育課長

接種率については把握しておりません。ワクチン接種は強制ではないので、接種の有無については、できるだけ分からないような体制をとっております。接種をしない選択をした子どもに対する誹謗中傷が起きないように、学校では子ども達に指導し、また保護者にもお願いをしております。

○瀧澤委員

大人でも接種をしない人への誹謗中傷があるため、接種の有無が子ども達に分かってしまうと大変だと思い、質問をさせていただきました。子ども達に接種の有無が分かれば、いじめや多少の差別が起きてしまうことも考えられますので、その辺の対応がどうなっているのかと思って質問させていただきました。子ども達が分からなければ良いと思います。

○教育長

誰が打ったか、打ってないかということを詮索しないよう子ども達には指導しました。副反応で休んだ場合などにより、子ども達の中では連絡を取り合って誰が打ったかある程度分かっていると思います。ただ、それを表立って言わないようにする事前の指導が大事だと思います。接種するしないは個人の自由であり、権利であるので、言うてはいけないことを分からせることが、学校としての教育だと思います。もし言うてしまうような子どもがいた場合には、周りの子ども達が言うてはいけないことを注意する雰囲気や学級の中で作らなければならないと思っています。

○沼田委員

今のコロナの話に関してですが、子ども達や保護者から聞いたことをお伝えしたいと思います。子ども達は学校の先生の言うことをよく守っているみたいです。副反応で休む子が出るとワクチンを受けたことは分かりますし、ラインなどにより誰が休みだったかなども伝わっていると思います。それでも、クラスで受けていない子はいるか親が子どもに聞いても、子どもは答えなようです。そこまで徹底されており、個人のことから誰が

受けていないということを家に帰っても言わないという雰囲気が出来上がっているようで、安心しました。また、私の感想であります。2回目の予防接種を終えた人が感染するブレイクスルー感染が報告されていますので、受けたから必ずかからないわけではないことを、これからは徹底していかなければならないと思います。そのことを子ども達に気を付けるよう指導していただければと思います。

○学校教育課長

おっしゃる通りかと思えます。先日各学校に通知を出した際、県内の感染状況は改善傾向にあるが、未だ流動的な状態であり、気を緩めることなく感染防止対策を徹底するよう依頼しております。ワクチン接種した人の感染例が全国で報告されておりますので、再び感染者が増えないような取組みをすることが、感染者数が下がっている今こそが大事だと思っております。

○瀧澤委員

9月21日、22日の新人戦は予定通り実施されたのでしょうか。

○学校教育課長

昨年の新人戦、今年の総合大会の経験を踏まえて、無観客、選手の会場への入替制、男女別の日程にするなど各競技において感染対策を徹底し、その上で家庭内にPCR検査を受ける人がいる場合や具合が悪い人がいる場合には、出場を我慢してもらうこととして新人戦を実施しました。そこまで徹底しないと大会の実施は難しいということの中体連の事務局で十分に話し合い、また我々も様々な助言をしながら、大会の方針を決めて実施しました。

○瀧澤委員

中体連と新人戦は、部活動を行っている子ども達にとってはすごく大きなもので、これからコロナが終息に向かうような形になって、来年の中体連に向けての新人戦というものは、一つの励みになる部分でもあり、ぜひ開催して欲しいと思っていたので、今回実施することができたことは良かったと思います。

○教育長

体調が悪い場合には参加しないということが、徹底し始まっていると思います。6月の中体連、今回の新人戦の実施により、大会の開催の仕方がだんだんと板につき始まっていると思います。

○高橋委員

図書館に関してですが、伊勢崎市役所を訪れた際、待合室に本箱があり、その本箱の本は持帰りをすることができ、また本の受け入れも行っているようです。また、伊勢崎駅にも同様のコーナーが設けられていて、雑誌や子どもの学習参考書等が並んでいました。図書館の人が手をかけずに市民が自由にやり取りできるコーナーがあることが、とてもおも

しろいと思いました。白河市内に住んでいる人で本好きの方はたくさんいると思います。読まなくなった本は廃棄するのではなく、伊勢崎市のように市民がやり取りできる場所を設置し、市民同士が自由に本の使い回しをすることができると、とてもおもしろいと思います。

○市立図書館長

乗車する駅で本を借り、降車する駅に返すなど、様々な場所で行っている事例があります。りぶらんでもコロナ禍前は、寄贈された本で受け入れられないと判断したものについて、期間を設けて利用者が持帰りできるようにしておりました。主に雑誌が多かったです。現在はコロナ禍でありますので休止しております。りぶらんでも市民が本を持ち寄り、持ち帰ることができるコーナーの設置について検討したことがありますが、実現はできておりませんので、他の図書館の事例などを確認しながら、何ができるか勉強していきたいと思います。なお、寄贈の申し入れをいただくのですが、スペース等の関係もありますので、できるだけ白河に関する本や郷土資料をいただければということでご案内しています。

○瀧澤委員

同じく図書館に関してですが、10月30日、31日に「懐中電灯 de 図書館探検」が予定されており、すごくおもしろそうですが、開催する狙いについて教えてください。

○市立図書館長

日中の図書館というのは、子ども達も利用して分かっていると思いますが、暗く、静かになって肝試的な要素のある図書館内を、図書館員が説明しながら、お父さん、お母さんと一緒に歩き、書庫や普段行けないような場所などを見てもらえたらと思い企画をしました。

○瀧澤委員

子ども達が小さい頃に小学校で肝試しを行ったことがあり、すごく楽しい経験をしたことがあります。今回の企画もすごく楽しそうだと思います。

○北條委員

通学路についてのご質問です。小野田小学校の反町地区にある狭い道路が拡張されて、子ども達が安心して通学できるようになりました。一方、釜子小学校の通学路の一つである若栗地区から郵便局までの通学路ですが、道幅は狭く、坂がとてもきついのですが、その道を子ども達が通学しております。私の夫は交通パトロール隊の隊長を務めておりますが、その道で子ども達を先導して歩く保護者の姿を見かけることもありました。道幅が狭く、坂がきつくて非常に危ないと感じています。通学路として何とかならないかと思い、また通学路についてはどのように思っているのかと思ひまして、ご質問をさせていただきました。

○学校教育課長

子どもの安全確保は教育以前の大切な課題であると思っております。通学路の安全点検は、小中学校を3つのグループに分け、3年に1回、学校から上がってきた危険と思われる箇所が実際どのような状況なのか、国、県、市の道路管理者、警察、学校、あるいはPTAの方と一緒に現場で点検します。その後関係機関がそれぞれ持ち帰って、どのような対策ができるか検討します。関係機関がそれぞれの予算で実施しているものですから、一概に全ての改善が進むわけではありませんが、皆で知恵を絞り、とにかくできることから実施していき、改善を図っております。今年に関しては、全小学校改めて危険箇所について追加で集めましたので、それらについて今後関係機関が集まり、どのような改善策がとれるか検討する場が設けられる予定です。学校で把握しきれない危険箇所もあるかと思しますので、お気づきの点がありましたら、最寄りの学校に情報を提供いただければ、通学路安全点検の際に、学校から改善の要望が上がります。少しずつでもできるところから通学路の安全対策を進めて参りたいと考えています。

○北條委員

交通パトロール隊には、通学時間に啓発運動のための運転をしていただいておりますが、今課長に説明していただいたことを隊長から隊員に伝えることで、通学路の危険箇所について把握するよう注意しながら運動、運転をしていただけるのではないかと思います。いかがでしょうか。

○学校教育課長

学校だけではなく、地域社会全体が子ども目線で、どこが危険なのか通学路を見ていただいて、その危険箇所を学校として把握しておく。我々はそれに対して、少しでも改善できないかアクションを起こすことが大切であると思っております。地域全体でそのような危険箇所の把握のためのアクションを起こしていただくということは本当にありがたいことだと考えております。

○教育長

予算のこともあり、すぐに改善されるわけではないですが、お話いただいたような情報を学校に寄せていただければ、子ども達に対して「あそこの道は狭くて危ないから、班長さんは注意して子ども達を導いてね。」など指導をすることができます。一言声をかけるとかけないとでは、全然違うと思います。

○高橋委員

白一小と中央中の市指定研究公開に教育委員として足を運んでも良いのでしょうか。

○学校教育課長

昨年、今年とコロナ禍の状況での開催となっておりますので、今後学校とも連携、協議を図っていかなければならないかと思っておりますが、基本的にはお時間の許す限り学校の現状をご覧いただいて、ご感想等いただければありがたいと思います。

○教育長

これにて一般質問を終了いたします。

日程第6 その他

○教育長

次に日程第6その他に入ります。各課所の取組みや課題などについて、ご意見、ご質問等がありましたら、この場で取り上げたいと思いますが、何かございますか。

○沼田委員

中学校で行っているビブリオバトルについて教えてください。ユーチューブで高校生のビブリオバトル全国大会のようなものを見ましたが、各中学校、小学校でも行っているものなのでしょうか。

○教育長

小学校は小野田小、中学校は表郷中が行っています。全校でビブリオバトルのような校内で審査を行っているわけではないです。

○沼田委員

ビブリオバトルは、表郷中学校で盛り上がる行事の一つです。本を読み、皆にこの本が読みたいと思わせるためプレゼンをする行事で、予選、準決勝、決勝と行い、ものすごく盛り上がります。プレゼンをするため本を1冊は読み切り、熟読し、プレゼンをする準備をします。そのため、プレゼン力や、何かを人に説明するときに必要な力が身に付き、社会に出て役に立つ、身に付けたいスキルの一つだと思いました。小中学校で全国大会のようなものが開催されれば、導入したタブレットを使って、皆で共有して見れると良いと思いました。

○学校教育課長

ビブリオバトルをきっかけに、本に親しむこともありますし、人に思いを伝えるプレゼンの能力や基礎ができますので、すごく良い取組みだと思っております。小野田小では、1年生が優勝したケースもあります。学級で代表者を選び、その代表者同士でビブリオバトルが行われたのですが、必ずしも6年生が優勝するわけではなく、おもしろい取組みだと思っております。表郷中でも始められたことは伺っております。それぞれの学校の取組みの良さについては、各学校にお伝えしてありますので、各学校で参考にしていただければと思っております。取組みについては、教育委員会などから言われて行うものと、自分達で自発的に行うものとは、結果が同じではないと思っております。ビブリオバトルに限らず良い取組みは学校に紹介し、各学校の自主性に火をつけられればと考えています。教員に限らず、子ども達から声が上がっても良いと思います。その場合、教員より中身のある活動になると思います。ビブリオバトルはテレビで紹介されたこともあり、子ども達の中にそのような取組みについて啓発される子がいれば良いと思います。

○教育長

それでは、全ての日程が終了しましたので、以上で白河市教育委員会 9 月定例会を閉会いたします。

【午後 4 時 2 0 分閉会】